

③2015(平成27)年11月30日(月)

四賀の世帯数・人口

1,942 世帯 4.805 人 人口 男 2,320 人 2.485 人 女

(平成27年11月1日現在)

でと、七区が区間新記録でした。二年連続優勝の赤怒田が 年長七十一歳、降旗さんの走と赤怒田・絆の出場があり、最赤怒田から2チーム、赤怒田 の出場がありませんでしたが、 た。昨年出場の福寿荘チーム 録が続出の大会となりまし 絶好のコンディションで、新





賀を活性化しようと、松茸四賀サ

トボール

スポーツイベントを通じて四

空蔵山米かつぎマラソンが

十月十日に、

開催されました。四賀

前日の雨もすっかりあがり

中、四賀一周駅伝が十

第560则省一周职伝競技大会 結果

降旗榮道さん

-		ì			
総	順位	Z	チーム名	記録	新記録
合成績	優勝	5	赤怒田	1:27:41	0
px 結	準優勝	\$	召田	1:31:08	
	第3位	Z	保福寺町チーム	1:31:12	
	第4位	Z	殿野入	1:33:30	
	第5位	Z	反町	1:35:12	
	第6位	Z	<u>ス</u> ・ 新町ジャイアンツ 駅伝部	1:36:18	
	第7位	Z	五常	1:38:14	
	第8位	Z	五常B	1:43:09	
	第9位	Z	ほんまち	1:51:37	
	第10位	Ż	赤怒田·絆	1:52:37	
	第11位	Ż	殿野入ファミリー	1:54:15	
	第12位	Ī	刈谷原町	1:55:01	

個	区間	優勝者(チーム名)	記録	新記録
人成績	1	滝沢 駿太 (新町ジャイアンツ駅伝部)	7:58	○(注)
小貝	2	土田 健斗(赤怒田)	7:49	
	3	金子夢有斗(反町)	7:12	
	4	矢嶋 桂太(赤怒田)	11:15	
	5	丸山 純一(五常B)	12:06	
	6	笠原 健斗(赤怒田)	8:23	
	7	藤松 嶺(五常)	6:02	0
	8	兼児 真拓(召田)	8:35	
	9	降籏 翼(反町)	8:30	
	10	内藤 友哉(召田)	7:46	

※第1区は、第2位大平 輝(召田)、第3位両角竜平 (殿野入)、第4位青木優也(赤怒田)も新記録



で走行。米かつぎマラソンは四年 内外からサイクリングツアーに があり、快晴の中標高差六五〇m、 ぶりの復活開催で、九三名の参加 すいルートの二 んびりル ルート

四賀ナイター

第 46 回 第3位

D. DREAZERS 本町ボッキ

新町ジャイアンツ

第 30 回 第3位 四賀オールドナイター 五常チー 会田チー

第32回市長杯争奪球技大会

松茸四

しみに。

中川小学校で、こ 感じた十月十一日、旧

小雨が降り肌寒く



車場を案内しました。 過ぎには駐車場 らお客様の車が入 り、雨が止む十時 が満車となり第二駐

えます。 開催時間前か

者は七十組を数 者と、ライヴの演 同してくれた出店 のコンセプトに賛 企画の『しがきま』 もらうためにとの もらう、楽しんで が開催されまし れが三回目となる た。四賀を知って 「四賀にきましょ」

里山をめぐる・あそぶ・あじわう 手しごとり き

いるそうです。お楽 期待の声。 開催を予定して 来られた人、幅広 らは、もう次への い年齢層のお客 来た人、懐かしく ィスブレイされ ま』は、来年秋の そんなお客様か 様は、なんと七百 た小学校。初めて 人となりました。 次回の『しがき





準優勝は板場、 繰り広げ、優勝はしんまち 賀体育館で開催されました。 例の大会が、十月十八日に四

3枚

秋晴れの下でプレイを楽しみ ン大会が十月十八日に四賀マ 参加し開催されました。 交流と親睦を深めました。 レットゴルフ場で六十六人が 今年は中学生六名が参加し 四賀マレットゴルフォープ 第3位 準優勝 子 子 勝 横山 小澤 勝也 優



九月二十六日、 第七次発掘

中世の寺? あるいは豪族の町時代の造成跡が発見された。 景の解明を期待したい。 穴 り江戸時代のお堂の下から室 調査報告会が行われた。 隠居施設? の新発見は「長安寺」 により新しき発見と中世の風 産の陶器、 た遺物は、 炉跡、 今後も発掘面積の広がり 池跡から出た銅製の和鏡 中国産の陶磁器、硯、 池跡の遺構。出土し 皿、鍋、火鉢、 建物の礎石、 あるいは豪族の 一跡地よ 瀬戸 今 回 柱

跡

八チームが参加して熱戦を

3位は刈谷原

日頃の練習の成果を競う幅

四賀地区担当 悠 保健師 清本 20世支所にいます! 12月16日(水) ⋒9:00~11:00 1月19日(火) ☆9:00~11:00 お気軽に

四賀マレット

斎藤 市川美佐惠 霜田ますえ

英子

史館も見学いたしました。 水

賀地区人権啓発推進 田の真田氏本城跡と 長野市松代の松代大田市塩田の無言館と、 協議会の研修で、上 真田の郷の真田氏歴 した。途中、上田市真 本営地下壕に行きま 九月三十日

動員された 残りました。 くない」との言葉が強く耳に 多くの人の存在を忘れてほし 何も残せず亡くなった、より でしょう。ただ、同行の方の「何 彼らが生きながらえたならば、 方々の苦し で、建設に スケールの大きさが想像以上 かを残せた人はまだ幸せだ。 どんな作品を残していたこと 心に迫るものがありました。 品は、なぜか通常の絵画より 半ばで倒れた画学生たちの作 深く見学しました。戦争で道 たいと思っていたので、興味 ▼松代大本営地下壕は、その 無言館は以前から訪ねてみ

りません。 戦争には良 みがひしひ いことはあ てきました。 しと伝わっ